

健康日本21安城計画第6回策定委員会

日時：平成31年1月30日（水）

午後1時30分～3時

場所：安城市保健センター2階 講座室

出席委員：清水誠司、浅井章夫、野村直人、神谷明文、宮下晴美、黒柳厚子、鈴木広幸、
酒井多香子、矢田力三、竹本和彦、神谷由美子、柳澤義雄、吉田裕之、
古居敬子、小田克成
(敬称略)

助言者 愛知医科大学看護学部長 坂本真理子

事務局 子育て健康部長、健康推進課長、健康推進課主幹、健康推進係長
健診係長、保健指導係長、健診係専門主査、保健指導係専門主査
健康推進係担当者

傍聴者 0名

次第

1 あいさつ

2 議題

(1) 第2次健康日本21安城計画改訂版(案)について

① パブリックコメントの結果について・・・資料1

② 概要版について・・・資料2

(2) いのち支える安城計画(案)について

① パブリックコメントの結果について・・・資料3、4

② 概要版について・・・資料5

(3) 市長への答申(案)について・・・資料6、7

・2月18日(月)の予定

3 講評

<部長>

皆様こんにちは。本日は、大変お忙しい中、健康日本21安城計画策定委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

私は、本日の進行を務めさせていただきます、子育て健康部長の鈴木でございます。よろしく願いいたします。

本日のご欠席は、4名の委員から連絡をいただいておりますが、健康日本21安城計画

策定委員会規則第4条第2項に規定します委員の半数以上に達しており、策定委員会は成立しております。

なお、会議の議事録についても公表させていただきます。安城市の公式ウェブサイトにて掲載いたしますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

では、開催にあたりまして、清水会長よりごあいさつをお願いいたします。

1 あいさつ

<会長>

皆様こんにちは。インフルエンザが猛威をふるっており、本日も何名か欠席になっております。愛知県では統計を取って以来過去最大となっています。皆様もぜひお気を付けいただきたいと思います。

計画にもあるようなBMIを適切に保つ、野菜を食べるなど、普段の生活を保つことがインフルエンザの予防にもつながると思います。

本日の策定委員会をもって、委員の皆様の活発な意見交換によりできあがった計画を市長へ答申していきます。本日の委員会で最後になりますので、悔いのないようにご討議いただければと思います。

<部長>

ありがとうございました。これより議題の審議に入らせていただきます。

ここからの進行につきましては、清水会長に議事を進めていただきます。よろしく願いいたします。

<会長>

それでは座って進めさせていただきます。

議題（1）第2次健康日本21安城計画改訂版（案）について、①、②まとめて事務局より説明をお願いします。

2 議題（1）第2次健康日本21安城計画改訂版（案）について

① パブリックコメントの結果について・・・資料1

② 概要版について・・・資料2

※事務局より説明

<会長>

ありがとうございました。

パブリックコメントは期間内には0件ということでした。

議題（1）について、ご質問ご意見等ありましたらお願いいたします。

<柳澤委員>

意見が0件というのは残念でした。市民の方が無関心だったのか、宣伝が少なかったのでしょうか。

概要版は、上手にできていると思います。わかりやすく、カラーで、ページ数も良く、理解しやすいものと思います。計画を進めるにあたって、絵に描いた餅にならないよう進めていただければと思います。

<会長>

無関心という解釈と、内容がよくわかり、突っ込むところがなかったのかのどちらだったのでしょうか。

<事務局>

PRに関しては自殺対策計画と同じようにやったのですが、ご意見いただけなかったのは残念です。もしかしたらもう少しがんばってやらなければいけなかったのかもかもしれません。

推進していかなければならないということと、重点取り組みをあげさせていただいたので、実際の市の事業に落とししていくことを考えている最中です。保健センターだけでなく、委員の皆様におかれましては、口コミでの宣伝のご協力もよろしくお願いします。

<会長>

パブリックコメントの求め方も市のHPや広報だけでなく、SNSの活用も今後の展開としては考える必要があるかもしれません。

概要版も計画本体よりもよくわかると思います。概要版がこれだけきっちりとしたのも非常に読みやすく、非常にフォーカスを絞っていただき、訴えたいことが凝縮されています。挿絵やコラムを入れていただき、素晴らしいものができたと思います。

その他よろしいでしょうか。よろしければご承認の拍手をお願いいたします。

<委員>

※拍手

<会長>

ご承認ありがとうございます。

続きまして、議題（２）いのち支える安城計画（案）について、まず①について事務局より説明をお願いします。

2 議題 (2) いのち支える安城計画(案)について

① パブリックコメントの結果について・・・資料3、4

※事務局より説明

<会長>

ありがとうございました。

初回の計画になるのでまだまだ修正があるかと思えます。

質問に対して市の回答を準備して下さったということになります。

<吉田委員>

いじめの問題で、質問者の方から、児童生徒に対する対応はどうかということがあり、SNS上でのいじめもあるかと思えます。安城市の自殺の一番の特徴としては60歳代以上の生活苦や介護の疲れ、40歳代・50歳代などは職場のパワハラなどが要因が多いようです。大人が輝けば子どもも輝くという言葉がありますが、大人が輝けば子どもも自然といきいきとしてきます。からだを動かすことでいきいきしてくるんじゃないかと思えます。誰でもできるウォーキングやジョギング、みんなで楽しく体を動かしましょうというイベントや機会をたくさん持つことで、みんなとつながりができ、うつ病が治ったりいじめ防止、自殺対策につながると思えます。

<会長>

ありがとうございました。パブリックコメントに関することではありませんが、幅広くご意見をいただきました。

色々な修正や資料4の追加をしていただき、内容についても簡略化していただき、すっきりとしていただけたと思います。

続きまして、議題(2)いのち支える安城計画(案)について、②について事務局より説明をお願いします。

2 議題 (2) いのち支える安城計画(案)について

② 概要版について・・・資料5

※事務局より説明

<会長>

ありがとうございました。

概要版は安城市の広報に挟んで配布する予定はないでしょうか。

<事務局>

広報に入れる予定はありませんが、各課が持っている会議等の中で関係団体等いろいろな方に配布することを考えています。

<会長>

ありがとうございました。相談先一覧は各家庭で冷蔵庫にでも貼っておくと非常によく、全戸配布を考えるとよいと思います。命綱になる可能性もありますので予算の関係もあるかと思いますが、ご検討いただけるとよいと思います。

概要版についてはいかがでしょうか。

<鈴木委員>

計画書の相談窓口一覧は前回会議では配られておらず、今回はじめて配られたということではよかったですか。愛知県の相談窓口が窓口の名前しか書いていないので、一般の方はわかりにくいと思います。概要版も愛知県の該当する相談窓口には、組織の部署が入っておらず、安城市の担当課の記載があるように修正していかないとわかりにくいかと思うので、修正を検討していただけますでしょうか。

<事務局>

ご検討していただけるようでしたらお願いします。

<会長>

それでは市長答申までに検討していただければと思います。

<副会長>

相談するにあたってわかりにくい部分もあると思います。相談する側にとっては、どこに相談したらよいか迷うと思うので、それぞれの窓口の特徴を書いていただけるとわかりやすいかもしれません。

<会長>

ここに並んでいるものすべてに担当者や特徴を入れていくのは難しいと思いますが、同じようなものが並んでいるところで、差別化というかわかりやすく違いがでるものを入れられないかということですが、いかがでしょうか。

<事務局>

市の公式ウェブサイトにも相談窓口を掲載しようと考えています。誰が相談に応じるのかというのは、現在調査中です。ご覧いただいてわかると思いますが、これ以上情報量を増やすのは概要版の紙面上なかなか難しいところかと思っています。

<会長>

それでは保健所から指摘いただいた部分については追加するというので、ウェブサイトを見に行けば詳細がわかるということについては、QRコードと説明を追加して誘導してあげるような形でいかがでしょうか。

<事務局>

概要版の裏面にあるQRコードが計画のページに移動するようになっていますので、相談の部分にもQRコードを追加することは対応として可能かと思えます。

<会長>

「相談窓口一覧」のタイトルの横にQRコードと説明を入れて、計画書につながるという形でよろしいでしょうか。

<副会長>

相談窓口の中の一つに、心配ごと相談があり、民生委員の方が担当をしてくださっています。もしスペースがあれば民生委員担当ということを入れていただけるとよいかと思えます。

その他子ども生活相談など、専門の先生が対応しているような窓口については、特徴を入れていただけるといいかと思えます。

<会長>

安城市というと市の職員が全てやっている印象になりますが、民生委員や専門の先生ということを一覧の中に盛り込めると非常にいいかと思えます。しかし、紙面上の余裕がないのであれば、QRコード経由でもいいとは思いますが、なるべく特徴を出していただければと思います。

<神谷委員>

チャイルドラインは日曜日もやっておりますので訂正をお願いします。年末年始はお休みです。

<会長>

それではご指摘いただいた部分については、訂正をお願いします。

非常に上手にまとめてくださったと思います。ご意見いただきさらに修正し、まとめていく方向で今後修正があるとは思いますが、よろしければご承認の拍手をお願いいたします。

<委員>

※一同拍手

<会長>

ご承認ありがとうございます。いかにこの計画が実行性にあるものになるのかは、推進の部分にかかっています。警察庁統計によると、自殺者数が前年から大幅に減り、9年連続で減少しましたが、まだまだ高い自殺率となっています。この統計で唯一19歳以下が増えてしまった、子どもの多い地域である安城で子どもたち、市民を守る必要があります。

<副会長>

もう1点、児童相談センターが入っていないのは何か意味がありますか。

<事務局>

児童相談センターについては、意図して載せていないということはないですが、市で児童虐待を担当している課がありますので、まずは市の身近なセクションを記載しており、児童相談センターを記載はしていません。

<副会長>

そういうことでしたら、愛知県の方に児童相談センターを記載されたらどうでしょうか。

<事務局>

市の方で相談を受けてから重篤な案件については児童相談センターへつないでいくという流れにはなっていますが、ご指摘いただきましたように、愛知県のDV相談等も入れていますので、児童相談センターにもお声かけさせていただき、掲載していく方向で検討していきたいと思えます。

<会長>

貴重なご意見ありがとうございます。確かに他の年代と19歳以下では自殺への経路が全く異なります。他の年代では健康、経済となりますが、子どもではいじめや家庭内の問題になります。その問題に対応して、引き受けてくれるところが分かっていたほうがいいかと思えます。

それでは、議題（3）市長への答申（案）について、事務局より説明をお願いします。

2 議題 （3）市長への答申（案）について・・・資料6、7

・2月18日（月）の予定

<会長>

ありがとうございました。

議題（3）について、ご質問ご意見等ありましたらお願いいたします。特に問題なければ、事務的な手続きの側面もあります。ご意見等よろしいでしょうか。よろしければご承認の拍手をお願いいたします。

<委員>

※一同拍手

<会長>

ご承認ありがとうございます。

このメンバーでこのような一同に会するのは今回が最後になります。この計画に基づき市民の行動変容が促されるか、また見やすい内容になっており、皆様から毎回素晴らしい意見をいただき、担当の方も頑張ってください、よいものになったと考えております。これまでの全体の流れでご意見等ありましたらお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

<古居委員>

計画は計画でいかに進めていくのか、これからの活動に大きくかかわってきます。私自身はいろいろな会に参加しておりますので、最終的に資料になった場合に、参考にさせていただきながら活動したいので、大人や子どもに対して説明する際に、資料の提供をお願いしたいと思います。

<会長>

その他よろしいでしょうか。審議については終了させていただきます。

それでは、助言者の愛知医科大学看護学部長、坂本真理子先生のご講評をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

3 講評

<助言者>

ご紹介ありがとうございます。学ばせていただくことが多い委員会でした。

多くの委員の皆様からご意見が上がりましたが、作って終わりではなく、計画を推進する担い手として見守る存在として長く付き合っていくことが大切だと思います。5年後に見直しがあるかと思いますが、スモールステップで1年1年振り返っていくことが必要かと思います。

今後のアイディアとしては、広報で計画ができたことをお伝えになられると思いますが、

市民の皆様が、人がイメージできるような形で例えば対談という形などで見れるようにしていただきたいと思います。また市民一人一人が参加できる仕掛けづくりがあるとよいと思います。SNSなど参加感があるような健康の行動計画になっていけるといいなと思います。

自殺対策計画については、短い期間で事務局の方でとりまとめ大変だったかと思います。毎日朝早く起きて、一緒にからだを動かすことが大切で、規則的に続けることの中で明るくなることもあり、委員の皆様におかれましては、実体験を踏まえたご意見は素晴らしいなと思いました。担当課だけでなく、複数の課がチームで支える計画だと感じました。評価しにくいこともあるかと思います。概要版の中で相談窓口がたくさん記載してありました。こんなにたくさん相談場所があることはわかるが、具体的にどこへいけばいいかはわかりにくいものの、相談に来た人がそこで対応できなかつたら、部署間での情報共有をすることで、せっかく出していただいたSOSを逃さないといったことを、行政や市民団体との連携で拾っていけると安城市の特徴として非常に強みになっていくなと感じました。市民の方たちにまずどこかにSOSを出してほしい、そのあとは任せてほしい、ここに相談してよかったなと思ってもらえるシステムができてくることがすごく大事だと思いました。皆様の議論の中で発想したり感じたことを述べさせていただきました。

<会長>

愛情のこもったご講評ありがとうございました。極端な話、全然違う部署に連絡があっても、自殺相談だと思ったら、次に連絡する先をお教えするといったオール安城で対応するのがこの計画であるといいなと思いました。

是非、次の機会もご指導よろしくお願ひします。

本日も各委員の皆様のご協力によりまして、円滑に審議が終了できました。進行を事務局にお返しいたします。

<部長>

ありがとうございました。

健康日本21安城計画第6回策定委員会を閉じさせていただきます。

本日の会議を持ちまして、昨年度から6回、全ての会議が終了となりました。委員の皆様のおかげで、無事2つの計画を策定することができましたことを感謝いたします。

ありがとうございました。